

2 港環環第 1 5 7 9 号
令和 2 年 9 月 9 日

国土交通大臣
赤 羽 一 嘉 様

港区長
武 井 雅 昭

羽田空港機能強化に係る要請について

港区では、令和2年5月25日から6月23日の間、区立高陵中学校及び本村小学校において航空機騒音測定を実施し、その結果に関する詳細な分析を行いました。その結果、別添のとおり、最大騒音レベルの最大値は高陵中学校で77.1dB、本村小学校で77.5dBが測定され、また、多くの機体で機体サイズ別の平均値が住民説明会で示されていた推計平均値を超えていることが確認できました。さらに、航空機の「時間帯補正等価騒音レベル(Lden)」等についても、南風運用の際には高い値となっています。この分析結果を踏まえ、引き続き、9月10日から10月10日の間、区内5箇所騒音測定を実施する予定です。

こうした区内の状況や区民の不安の声に対して、貴省として真摯に受け止め、区民への丁寧な説明や更なる対策の検討など、十分な対応をお願いいたします。

併せて、区独自に実施した区内の騒音測定結果や分析について、貴省が設置された「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」等で活用し、羽田空港の飛行経路の様々な運用や更なる騒音・安全対策等に積極的に取り組むよう、下記のとおり要請いたします。

記

1 騒音対策

- ・実機飛行確認の際に国等が実施した騒音測定結果に加え、区が実施した騒音測定結果においても、最大騒音レベルの推計平均値が予測を超えていた原因の分析や報告を行うとともに、騒音軽減策の工夫や取組をさらに図られたい。
- ・区内の騒音状況の実態を把握するため、短期騒音測定に加え、騒音測定局を区内複数箇所に設置されたい。

2 飛行経路に係る運用

- ・今後の航空管制や航空技術の進展に伴う滑走路の使用方法の見直し、地方空港の更なる活用等による飛行ルート分散化、海上ルートの活用など、新ルートに限らず、羽田空港の飛行経路に係る様々な運用を検討されたい。

3 安全対策

- ・落下物防止対策基準などを含む「落下物対策総合パッケージ」に盛り込まれた対策を確実に運用するとともに、その検証や評価を行い、より実効性の高い落下物防止対策を積極的に検討されたい。

4 住民説明会等

- ・区民の不安や疑問の払しょくに向けたきめ細かな情報提供や丁寧な説明に努めるとともに、区内全域において住民説明会（教室型）を開催されたい。